



発行所 宝生教大阪本部
大阪府西區北堀江3丁目10番
電話 06(6531)6722
FAX 06(6531)6152
© (非売品)

12月号

自家成立の
根源は和にあり
秩序の根源は
神祖崇敬より

ご教話 教育勅語を世に伝えよう

祭 並 月 (11月1日)

皆さん、こんばんは。早くも霜月、冬の足音が聞こえだす冷たい中をようこそお参り下さいました。

一昨日の十月三十日は、今から百二十八年前の明治二十三年、教育勅語が發布された日です。

更に十一月三日は明治節、明治天皇のお誕生の日で、明治天皇の御偉業を称える日です。現在は文化の日となっています。

その発布の三十日に行われた大阪近郊敬和会では、原文と口語訳を配り、皆さんと共に勉強しました。

新春を寿ぐ お鏡料 受付

お正月に、皆様の誠心をお鏡餅にして、御神前に供進いたします。一口、金五百円。何口でも結構です。教会事務所に専用封筒がございます。十二月二十二日まで。

教育勅語とは、明治天皇

が「これからの日本をより良い国にしていくためには共に、この様な心持ちが大切ですよ。」という事を天皇が国民に語られたお言葉です。

先日、新安倍内閣の文部科学大臣に就任した柴山大臣が会見で「ぜひ、教育勅語を今の教育現場でも生かせる様にすることは検討に値する。」という主旨の発言をした所、早速、左寄りのメディアや政治家、キリスト教の団体などが猛反発し抗議の声を上げています。

お正月に、皆様の誠心をお鏡餅にして、御神前に供進いたします。一口、金五百円。何口でも結構です。教会事務所に専用封筒がございます。十二月二十二日まで。

しかし、教育勅語の中で

語られている十二の徳目は人としてごく当たり前の事ですすよね。まさに道徳そのものが語られている訳です。今回の柴山大臣の発言に對して共産党のある政治家などはこの件だけを取り上げ自分の国の大臣に對し「バカ」呼ばわりしています。

あまりに非道徳的な行いだと思いませんか？ その抗議の内容も私達には理解に苦しむ内容です。まず一点目は、教育勅語は昭和二十三年に国会で失効決議がなされているという点。

これは秋の例大祭でもお話ししましたが、その失効決議は「公職追放令」後に決議され米占領政策の一つでありました。決して私たち日本人の総意によるものではありません。

更に二点目はもつと拙な

くて、自国を賛美する事ばかりを子供達に教えるとは他国の良さを理解できない人間が出来てしまうという支離滅裂な内容です。新潟県立大学の袴田教授は、ある日の産経新聞の正論で次の様な主旨の発言をされています。

「自分たちの国の文化や言語と云ったものを深く理解させる事が教育であり、自分たちの民族性、国の歴史をしっかりと理解できていない人たちが他国の良さや歴史を尊重する事などできるはずがない。」

袴田教授の仰っしゃる事はまこと正しいと皆さんも良くご理解いただけると存じます。さて、教育勅語のすばらしさ、というより日本の皇室のすばらしさもその内容に感じられます。

良い国づくりの為に国民の努力が必要ですが、天皇自らも努力をしますので今後とも良い国づくりをし

小春日初に笑顔溢れ！ 七五三詣賑やかに執行

十一月十日(土)、小春日に恵まれ、大神様・教祖様・御祖先も祝ってくださいました。ついでなのでしよう！ 午前十一時より教会長様、祭主のもと七五三詣りが執行されました。



12名のお子さんに家族共々の記念写真。

十二組の可愛い、着物・洋服姿のお子様にも、ご両親、おじいさま、おばあさま、ご親族の方々も、ここに顔での参列です。祝詞に続き、神々しく清々しい神楽「鉦の舞」も奉納され、玉串奉奠。教会長様より福鈴を受け、お下がり千歳飴・神話の御本をいただきました。

お子様方の、健やかなる成長を心よりお祈りいたします。

て参りましょうと、天皇陛下が国民に語りかけている点です。教育勅語とは何のくもりもない正に道徳そのものなのです。これを将来ある子供達に教えずして一体何を教えるのでしょうか。ここからは、少し教育勅語の内容を掘り下げてみましょう。

その一部に「一日緩急アレハ義勇公二報シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ」という部分があります。これは日本書紀に記載されている「天壤無窮の御神勅」から引用されているもので、天照大神が地上に降られる瓊瓊杵尊に授けられた御神勅です。その中の「天壤無窮」とは日本の神々が治める永遠に続く稔り豊かな瑞々しく美しい国という意味で、「天壤無窮の皇運」とは単に皇室を指すのみならず、私たちの日本の国土、目に見えない文化や精神、日本人そのものを指していると私は

理解しています。更に「公益性」の徳目について簡単に云いますと世のため、人のために尽すという事ですが、先日のハロウィンの様に自分達の楽しみみの為に他人に迷惑をかけてまで大騒ぎしている姿などは正に公益性を失いつゝあると云えるでしょう。

もつと視野を広げれば、沖繩の基地問題も公益性の欠如と云えるかもしれせん。何故ならこの基地問題は沖繩県の都合だけで決められるものではありません。先日、基地の埋め立てについて県民投票条令を沖繩県議会が可決させましたが、

決して賢い選択ではないと存じます。日本という国は、日米合意と法令にしたがって基地の移設を進める方針でどれだけ沖繩県民が反対しても簡単には変えられない問題なのです。県民投票の結果、残るのは県民間の相互不和と混乱

のみが残ると云う予想は的を得ているものでしょう。在日米軍の用地は日米安全保障条約に基づいて日本政府が提供するものです。外交、安全保障は国民を守るという極めて重要な問題で、これはその責務を司る日本政府の専管事項なのです。

今年、当選した沖繩の玉城知事は、前知事の意向を引き継ぎ辺野古埋め立てに反対すると云っておられます。しかし、問題の根源である普天間飛行場の周辺住民の安全対策はどう考えているのかは未だ発表されず、とにかく埋め立て反対とだけ唱えています。

「公益性」がないという点では、先程のハロウィンの若者たちと良く似ていますね。これは恐らく戦後の日本教育の中で本当の道徳を教えてこなかった結果ではないでしょうか。もう一度云います！教育勅語こそ正しい道徳です。

盆景に「奉納瓦」受付と境内も華やかに 秋之例大祭 厳粛に執行——西播教会



西播教会 長 様

雲一つない秋晴の播州平野。樹も山も、大屋根の葺き替え前の瓦も、境内の砂利も、まして整えられた、菊小屋の今年は「三保の松原」に、一年かけて丹精込められた盆景が、輝きに溢れて皆様を迎えていることは当然の事でしょう。紅富士に帆掛け舟まで遊ぶ、駿河湾の前を通り、心、更に洗い清め、ニコニコ迎える役員さん。誘われ見ると、普段は見られない瓦とマジック。「奉納瓦」一枚

百円。『祝 山本〇〇』思わず皆さん、中には一万円円迄。有り難い事でした。参籠殿に併設された台所。まだまだ慣れないようでしたが、何やら婦人部さんも何時もに益して接待に力が入っていました。そんな中を大阪本部長様ご夫妻。副本部長様ご夫妻に企画部長様、総代役員始め教信徒の方々。養老教会、名古屋敬和会からも遠いところ早朝より参拝頂きました。又、西播教会の教信徒の方々も遠くは九州、横須賀、四日市からと感謝の心一杯に神恩感謝秋之大祭が挙行されました。

充実した雅楽部。今回、不肖私、体調不良のため当日朝に主管交代を申し出、龍笛主管は六年生の亀田麻

瑚さん。立派に務めてくれました。雅やかなる奏楽の中、本部長様を先頭に参進され、高濱総代の進行のもと、次第に則り進められます。今年も二人の紅顔の大学生が奉仕し、八十五年から九十年へと更なる教勢の拡充を祈り、日頃の感謝を申し上げる祝詞が奏上され、神楽は『豊栄舞』。島田彰子さんと寧子さん姉妹が舞

い納めてくれました。祭典は恙なく厳粛な内に終了し、参拝の皆様には境内の菊花を愛でていただきたり、瓦に揮毫していただいている間に直会の準備が整えられ、副本部長様のご発声で乾杯。直会が始まります。和やかにお神酒を頂

き、和氣諺々と話に花が咲き、楽しい時間でした。そしてやはり西播と、何やらアメリカの国旗の帽子にシャツを着た亀田参事、妙齡のご婦人二人を従えて、佳男感激!!とヤングマン。余りの盛り上がり誘われ

て、会場から企画部長に養老副教会長、そしてとうとう本部長様ご夫妻までもが拝殿に上がられ、Y. M. C. A. 会場一つ老若男女皆でヤングマン!!いやいやなんとも素晴らしい。熱気冷めやらぬ内に福引が始まり、お下がりには、有志の方々の提供された賞品が福々とそれぞれの手元に行き渡りました。そして養老教会長様の発声で万歳三唱。目度度くお開きとなりました。そして、この日はお山の記念日。大阪本部の方も含め約三十名の方々が登拝され、古遠く八十四年前の山頂での、御教祖を囲み輪になり、神様の降臨を願われ

た様子に思いをはせました。本当に朝から暗くなるまで、ご奉仕、参拝頂いた皆様ありがとうございます。西播教会長次男 山本修敏

「公益性」がないという点では、先程のハロウィンの若者たちと良く似ていますね。これは恐らく戦後の日本教育の中で本当の道徳を教えてこなかった結果ではないでしょうか。もう一度云います！教育勅語こそ正しい道徳です。

我々、寶生教の教信徒は御教祖のおかげで多くの御神徳を授かります。そして、御教祖のお力によって、それぞれが御霊動を頂き、御神宣、又おくじじひとつで、大変大きな御神力を受けることが出来ます。これは、大神様、御祖先の大きなお力、御教祖のお徳によるものです。その、御教祖の教えは、「明治陛下の遺志を尊重し、明治の御世の状態を保ち続けよ。」

ということなんです。そう考えますと、私達は、教育勅語をしっかり理解しなければなりません。唯々、そういったものがあつたのだな、というだけでは意味が無いのです。原文を読めば、殆ど理解できると思います。十月三十日の教育勅語発布の日、又十一月三日、明治節に因みまして今日のお話をさせて頂きました。

御本宮 月並祭

毎月第一日曜日 午前十一時半より



奉納神楽「豊栄舞」



菊小屋「三保の松原」が迎えます。

開教会九十周年記念大祭——養老教会 喜び溢れ、盛大・賑々しく挙行

菊花薫る季節、大神様よりお祝いを頂いたような爽やかな秋晴れの下、養老教会開教会九十周年記念大祭が盛大に挙行されました。

四日前のお米洗いに始まり、整えられた境内地には、大阪本部長様御夫妻、教父様御夫妻、副本部長様御夫妻、企画部長様、楽人として副本部長様次男真康様、西播支部長様夫妻、本部・西播の総代様、名古屋敬和会の皆様並びに支部信徒多数の方々、東は仙台や横浜、兵庫・大阪からは大型バスを仕立てられるなど、全国各地からご参集下さいました。

開式の大太鼓が打たれる頃には溢れんばかりの満場の拝殿。厳粛スムーズに進められる祭典、修祓・献饌に続いての副会長である主人の奉幣行事。祭主様の



養老教会長様

お慶びの祝詞奏上、本部長様のお祝いの幣帛祝詞に続いて、この日雅楽部デビューされたお子様方による舞楽「胡蝶」が奉納されました。舞人は私の長女美貴、岡島悠佳さん、井内貴久美さんです。副本部長様ご指導の下、一年半かけて覚えてくれました。同じ歳の三人は十一年前の記念大祭にはまだ産まれていませんでした。十一年経ちこの様に立派に舞ってくれ、練習の大変さを間近で見ている私は、胸がいっぱいになりました。

祭典後の祭主様のご挨拶では、改めて教会開設に至る経緯となった初代教会長

鳶はしご登りの演舞



奉納舞楽「胡蝶」



の末妹しげ氏が、この神様の神力により命の縁から助けられたこと、歴代の教会長や大勢の諸先輩方の弛まぬ努力により今日の日を迎えられた大きな喜びを話され、十年後に迎える百周年に向かい、更に寶生の名を世に広めてまいりましょうと仰いました。

本部長様には、ここまで素晴らしい舞楽を奉納されるには吹き手舞い手それぞれが、相当なお稽古に励まれた結果だとお褒めいただきました。また、こちらは御教祖自ら足を運ばれ開設された教会です。初代の晴康先生、二代目の順通先生、三代目の修康先生が時代に

直会。思い出の写真に「懐しい！」



合った布教とご指導をされ、教信徒の皆様が歩まれた結果です。十年経てば更に文明は進むでしょうが、この教えの本質(神道精神)は変わりません。しきしまの

大和の国は 言霊の さきはふ国ぞ まさきくありこそ と言う柿本人麻呂の歌にもあるように大和国(日本)は言霊が誠の幸せを運んでくれる国だという意味の歌ですが、これまでの諸先輩方のご苦労に思いをはせ、この教会を盛り上げる



奉祝の餅まき。大阪本部長様も「それ！」

ため寶生惟神(かんながら)の道を信徒皆様と共に実践いたし、感謝の言霊を胸に刻み、それを常に口に携え、教勢拡充、自家成立発展に、教信徒の皆様と共に努めて参りたい所存でございますと諭されました。

場所に「わっしょい！わっしょい！」の威勢の良い掛け声とともに入場してきます。纏の弥栄振りに始まり、男気溢れる四人の演技者、三十人余りのはしごを支える団員の息の合った様々なる迫力ある演技が決まると、大きな歓声と拍手が送られました。興奮冷めやらぬうちにスペシャルイベント第二弾の餅まきが始まります。教信徒有志のご奉仕の手で搗かれた餅米一俵分、およそ三千個が特設檯から撒かれ、大盛況の記念大祭はお開きになりました。

こうして振り返ってみますといつもの大祭とは違い若い方々も多数おみえになり、良い緊張感の中にも和気あいあいとした雰囲気でもとても美しい情景でした。私も今日をもって安んじることなく、今後より一層の努力をいたし、寶生教のお役に立つよう、また大神様御祖先様のご恩にわずかも報いる覚悟でございます。最後にになりましたがこの記念大祭にあたり連日のご奉仕を下さった信徒の皆様、ご参拝いただいた多数の皆様にご心より御礼申し上げます。

養老副教会長夫人
古川奈央

合同敬和会開催報告

御教祖生誕百五十周年となる今年、北部、西部、南海、大正、南大阪、京都奈良地区合同敬和会が、十月三十日火曜日の午後七時から、寶生教大坂本部で、教父様、教主様を始め権現家の皆様の御出席をいただき、二十名余りで開催させていただきました。



まずご本殿で、全員で参拝をさせていただき、その後修行殿に場所を移しまして、合同敬和会が始まりました。まず、高橋地区世話人の木本吉彦開催の挨拶の

後、木本副地区世話人長から、高円宮絢子女王殿下の御結婚についてお祝い申し上げます。

ここからは、出席の皆さんから、ざつくばらんに今年のそれぞれの出来事や、お陰話をしていただき、話に花が咲きました。

教主様からは、御教祖様のおかげにより、子宝を授かることが出来る銀杏の十枚のお守りのお話や、教育勅語に込められた明治天皇陛下の御心の御教話を頂きました。

最後に教父様からお言葉を頂きまして、お開きとなりました。

地区世話人 木本吉彦

【案内】「初顔合わせ会」青年部

青年部行事の事始め、青年部総会「初顔合わせ」が、来年も開催されます。

今回は皆様にご好評頂いております。白熱のボウリング大会！絶妙なハンデ設定があるので、参加者全員が優勝候補？豪華賞品があるのを待っています！

大会後、教会にて総会、昼食を頂き、お米おろしのご奉仕をさせていただきます。ご家族、ご友人お誘い合

後、木本副地区世話人長から、高円宮絢子女王殿下の御結婚についてお祝い申し上げます。

ここからは、出席の皆さんから、ざつくばらんに今年のそれぞれの出来事や、お陰話をしていただき、話に花が咲きました。

教主様からは、御教祖様のおかげにより、子宝を授かることが出来る銀杏の十枚のお守りのお話や、教育勅語に込められた明治天皇陛下の御心の御教話を頂きました。

最後に教父様からお言葉を頂きまして、お開きとなりました。

地区世話人 木本吉彦

教会行事

年末（平成三十年）

- 十二月一日(土) 月並祭 午後七時
 - 二日(日) 御本宮月並祭 午前十一時半
 - 御本宮遙拝式 午前九時
 - 八日(土) 修行日 午前十一時、午後七時
 - 九日(日) 教祖祭 午前十時
 - 十五日(土) 月並祭 午後七時
 - 十六日(日) 米子地区敬和会 午後九時
- 年末すすはらい 午前九時
- 本部教会の年末大掃除です。大勢のご奉仕お願いします。

【案内】「お正月飾りを作る会」愛教婦人会

毎年恒例となっております「お正月飾りを作る会」を左記の通り開催いたします。ご参加お待ちしております。

日時 十二月二十七日(木)

午前十一時より

場所 大坂本部 二の間

会費 二、〇〇〇円

※教会事務所前の申込み封筒に、お名前ご記入の上会費を入れて、事務所へお申込み下さい。

※定員(二十五名)になり次第締切です。

年始（平成三十一年）

- 一二日(土) 冬至祭—お水取神事 午後六時二〇分
- 秘法秘伝の御神水を取らせていただける、年に唯一のこの日、そして来年の運勢を御神示して頂く大切なお祭りです。
- 二八日(金) おもちつき 午前九時
- お正月、神饌に供するお鏡餅をたくさん搗ぎます。
- 三十日(日) 大祓式 午後七時
- 身心を清める惟神の神事です。神楽「花湯」も奉納され、茅の輪をくぐります。
- 三一日(月) 教会迎春準備 午前九時
- 大晦日、ご多用とは存じますがよろしくご奉仕願います。
- 一月一日(祝) 元旦祭 午前十一時
- 新春を寿ぎ、ご家族お揃いで、初詣ご参拝ください。
- 三日(木) 支部新春来参式 午前十一時
- 各支部より本部への初詣。
- 六日(日) 御本宮初月並祭 午前十一時半
- 御本宮遙拝式 午前九時
- 八日(火) お鏡開き式 午前十時
- お鏡餅をお下げし、健康保持を祈願し「おぜんざい」にして戴きます。
- 九日(水) 初修行日 午前十一時、午後七時
- 修行 午前十一時
- 初教祖祭 午後七時
- 西播教会修行日
- とんと焼き
- 正月飾りメ縄を焼去祓いします。
- 十四日(祝) 青年部初顔合せ
- 十五日(火) 初月並祭 午後七時

祝祭日には必ず国旗を掲揚しましょう

寶生教 国旗掲揚運動